

コミュニティ・スクールだより

8月2日（月）に、第九小学校コミュニティ・スクール研修会及び今年度第2回目の第九小学校学校運営協議会が開催されました。

学校運営協議会の中での協議についての主な内容は、以下のとおりです。



【C S 講演会】



【C S 協議会】

※協議（進行：家富会長）

テーマ「講演の内容を参考にこれからの取組を考える」

今回は、熟議は行わず、各協議会委員が考え、用紙にまとめたものを全体場で発表する形態をとりました。各協議会委員の、意見は以下のとおりです。

委員A

- 学校運営協議会における熟議テーマを設定することは難しい面がある。本日の講演を聞いて、学校課題（業務改善等）も含め、広くテーマを考えていきたい。
- 持続可能な活動という視点から、今後、地域のコーディネーターの発掘が必要である。
- 地域のみなさんが子どものためにできることなどを、話し合う場が必要である。
- 九小のプール清掃の時、地元消防団の方に協力していただき、スムーズに終了することができた。

委員B

- 「わたらせ見守り隊」や「PTA」「子ども育成会」など、子どもの見守りをする団体はいくつかあるが、今後、横のつながりができるようになると良い。
- 本日の講演でもあったように、ボランティアをしてくれる人にある程度の報酬を考えていくことも今後必要に思われる。
- 地域の役員等は短い任期（2年間）で終わってしまう。地域の行事や連携をうまく継続できると良い。

委員C

- 今日の講演を聞いて、コミュニティ・スクール及び学校運営協議会などの目的、内容について把握できた。（社会教育と学校教育の融合）
- 地域学校協働活動とは、多様性と持続可能性が必要。地域の結びつきの中から、地域の素材を見つける。アシストネット、地域の人に頼めるものは積極的に頼む。
- 地域と学校との情報の共有の必要性
- 地域の中での人材の発掘（ボランティアのあり方）
- 地域での学び合い。学習の場はどこにでもある。地域資源を利用して、学習の中心に据え、子どもと地域の人が学習する。

委員D

- 親父の読み聞かせ会。九小ではたらきかけをしてみてもおもしろいと思います。
- 子ども中心のハザードマップ（通学路）。地域等で、危険箇所の見直しを改めて実施するのも良いのではないかな。

委員E

- 本日の講演を聞いて、学校運営協議会のあり方が整理されてよかったと思います。
- 学校だよりの情報発信としてIT（動画、YouTubeなど）を使うのもいいと思いました。
- 地域に住んでいるその道の専門家を活用することも必要。例えば、子ども達が学校新聞を作る時に、元新聞記者に協力をしてもらうことなどが考えられる。
- 継続のために、活動本部は必要に感じました。公民館を軸に利用団体等の協力を得て、立ち上げることができると思います。

委員F

- 地域づくりを九小を核にして「子ども達のために」をスローガンに掲げ、推進することが必要と感じた。
- 今年度予定している防災訓練（10／23）やわたらせ交流会（10／31）を地域総参加の行事にして、CSとの連携を強化する。
- マナー化を防ぐための継続化を検討していくことが必要。
- 講演中の「ふるさとに誇りをもち、夢に向かってたくましく生きる児童」に共感した。

委員G

- 学校運営協議会の熟議で、学校の課題等がテーマになると良い。子どもの育成面と併せて、学校の課題や教師の悩みを熟議テーマにして、アシストしてほしい。
- 学校運営協議会と地域学校協働活動をつなぐコーディネーターを明確にしていけることが必要。コーディネーターの役割は非常に大変であるが、第3回以降、話題として取り上げてほしい。

委員H

- 今後も、地域の方々、各種団体の方々、保護者、学校関係者の意見交換、話し合いの場が大切と感じた。意見交換や話し合いをとおして、無理ない範囲で、子ども達のためにできることが出てくると思う。
- 子どものために行う見守り等の安全対策は大切であり、今後も継続していく必要がある。今後は、大人の目線でのコミュニティ・スクール活動を充実していくことと同時に、子どもが参加でき、子どもの考えや意見を聞くことのできる「子どもと一緒に体験活動」の意義も大きくなると思う。公民館で行っている「子ども地域学習活動」など、見本となる活動である。



【CS講演会】



【CS協議会】

上記のとおり、貴重な意見が多数出されました。

コミュニティ・スクール関係や地域学校協働活動に関しまして、保護者及び地域の皆様、ご意見やご提案等、よろしくお願いします。

九小コミュニティ・スクール事務局【72-4071（担当：田野入または岩崎教頭）】